

# 平成25年度事業報告書

自：平成25(2013)年4月1日

至：平成26(2014)年3月31日

## 事業の状況

### I 公益目的事業

#### 1 演奏家の育成事業(育成)

##### (1) 新進演奏家育成プロジェクト(文化庁委託事業)

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁と日本演奏連盟の共催事業で、平成25年度においては下記に掲げる4つのプロジェクトを実施した。

＝文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

##### ①「リサイタル・シリーズ」の開催

(平成25年度 札幌2回、東京10回、名古屋2回、京都1回、大阪4回、大分1回 計20回)

全国主要6都市で、厳正なオーディションにより優秀な若手演奏家を選抜し、リサイタル・デビューの場を提供した。

##### ・「リサイタル・シリーズTOKYO」 東京文化会館小ホール

#21 平成25年4月25日(木) 本濱寿明クラリネット・リサイタル※

#22 平成25年5月11日(土) 佐野麻衣子ピアノ・リサイタル※

#23 平成25年6月16日(日) 松岡直子ピアノ・リサイタル

#24 平成25年7月26日(金) 浦田典子ソプラノ・リサイタル

#25 平成25年9月14日(土) 小川瞳ピアノ・リサイタル

#26 平成25年10月13日(日) 西尾舞衣子ソプラノ・リサイタル

#27 平成25年11月21日(木) 中西哲人チェロ・リサイタル

#28 平成25年12月14日(土) 岩田真奈メゾソプラノ・リサイタル

#29 平成26年1月18日(土) 西川茉莉奈ヴァイオリン・リサイタル

#30 平成26年2月26日(水) 石水晶子ソプラノ・リサイタル

(平成25年度は、国の予算が平成25年5月15日に成立となったため、4月及び5月開催の前記※印2公演は文化庁の支援対象外となった。)

##### ・「リサイタル・シリーズOSAKA」 大阪いずみホール 協賛：いずみホール

#9 平成25年5月16日(木) 浦前華名ピアノ・リサイタル

#10 平成25年6月14日(金) 入谷幸子ピアノ・リサイタル(大阪文化祭賞奨励賞)

#11 平成25年10月4日(金) 牧野葵美ヴィオラ・リサイタル

#12 平成25年11月15日(金) 伊藤綾子ソプラノ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズSAPPORO」 札幌コンサートホールKitara 小ホール

#5 平成26年2月24日(月) 中川知美クラリネット・リサイタル

#6 平成26年3月5日(水) 南加奈子フルート・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズNAGOYA」 名古屋ザ・コンサートホール(電気文化会館)

#5 平成26年1月16日(木) 森友里恵ピアノ・リサイタル

#6 平成26年2月14日(金) 堀夏紀ピアノ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズKYOTO」 京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ

#4 平成26年2月7日(金) 大塚千草ピアノ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズOITA」 iichiko 総合文化センター音の泉ホール

#1 平成26年2月6日(木) 原田詩子フルート・リサイタル

②「オーケストラ・シリーズ」の開催（6回）

地域の音楽振興と新人演奏家の発掘・紹介を目的とした演奏会で、全国6地区で地元のプロ・オーケストラの協力を得て開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等の推薦を受けた多数の応募者を厳正なオーディションにより選抜し、合格者にオーケストラと協演する機会を与えるという新人演奏家にとっては得難い発表の場となった。

- ・第13回 札幌地区 平成26年2月11日（火）札幌コンサートホールKitara 大ホール  
演奏：札幌交響楽団 指揮：高関 健  
出演：竹生 桃 (Ob)、土本麻生 (Sop)、籠谷春香 (Tp)、川村拓也 (Vn)、  
井畑志保 (Fl)、永沼絵里香 (Pf)  
共催：(公財) 札幌交響楽団／北海道新聞社  
協賛：(公財) 道銀文化財団  
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会
- ・第14回 福岡地区 平成26年2月13日（木）FFGホール（旧福岡銀行本店大ホール）  
演奏：九州交響楽団 指揮：金 洪才  
出演：島田奈津子 (Sop)、森岡ゆりあ (Vn)、小井塚ななえ (Pf)、  
大坪健人 (Pf)  
共催：(公財) 九州交響楽団
- ・第15回 大阪地区 平成26年2月25日（火）ザ・シンフォニーホール  
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：現田茂夫  
出演：丹羽あいり (Vc)、埴 美里 (Sax)、松山美穂 (Pf)、石田紗樹 (Vn)  
共催：(公財) 日本センチュリー交響楽団
- ・第16回 広島地区 平成26年3月6日（木）広島国際会議場フェニックスホール  
演奏：広島交響楽団 指揮：小田野宏之  
出演：田中歩実 (Mb)、大下裕子 (Ob)、野村友輝 (Cl)、藤本夕子 (Pf)  
共催：(公社) 広島交響楽協会  
後援：中国新聞社
- ・第17回 名古屋地区 平成26年3月19日（水）愛知県芸術劇場コンサートホール  
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：円光寺雅彦  
出演：山川達史 (Pf)、鈴木慧悟 (Va)、渡辺志穂 (Sax)、山田真吾 (Vc)、  
木下 侑 (Sop)、水野 優 (Tn)  
共催：(公財) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第18回 仙台地区 平成26年3月28日（金）日立システムズホール仙台・コンサート  
ホール（仙台市青年文化センター）  
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛  
出演：佐藤こずえ (Sax)、齋藤初美 (Pf)、松田千明 (Sop)、大内美佳 (Sop)、  
西村萌玖夢 (Vn)  
共催：(公財) 仙台フィルハーモニー管弦楽団

③「新進芸術家海外研修員コンサート」の開催（2回）

文化庁新進芸術家海外研修制度により海外で研鑽を積んだ新進演奏家による演奏会を開催した。今年度よりジョイントリサイタル形式とし、4名の研修生が自己の研究の成果を披露しあった。

- ・平成25年11月26日（火）東京オペラシティ・リサイタルホール  
出演：山本 徹 (Vc)、稲生亜沙紀 (Pf)
- ・平成25年12月25日（水）東京オペラシティ・リサイタルホール  
出演：小関 妙 (Vn)、峯麻衣子 (Pf)

④「ドイツ歌曲とピアノ伴奏法 公開マスタークラス」

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、明日の音楽界を担う若い人材を育成する

ことを目的に実施している事業。平成25年度はベルリンのハンス・アイスラー音楽大学リートクラス教授のヴォルフラム・リーガー氏を招聘し、ドイツ歌曲の歌唱法とピアノ伴奏法の公開マスタークラスを計5回開催した。

- ・平成25年10月28日（月）大阪／いずみホール
- ・平成25年10月30日（水）東京／東京オペラシティ・リサイタルホール
- ・平成25年10月31日（木）東京／東京オペラシティ・リサイタルホール
- ・平成25年11月3日（日）東京／サントリーホール ブルーローズ
- ・平成25年11月5日（火）東京／トッパンホール

**（2）文化庁新進芸術家海外研修制度の協力＜平成26年度派遣対象＞**

文化庁の依頼により、新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行った。当連盟の受付け数、合格者数は次のとおり。

研 修 期 間	日演連受付け数	日演連 受付け分合格者
1年研修（200～350日）	11名	5名
2年研修（700日）	1名	0名
3年研修（1,050日）	0名	—
特別研修（80日）	0名	—
高校生研修（350日）	0名	—
計	12名	5名

**2 音楽普及活動（自主公演）**

**（1）「2014 都民芸術フェスティバル」の主催公演**

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例の祭事で、新春を彩る行事として今年で46回を迎えた。25年度は広範な芸術ジャンルの中から11部門、128公演が実施されたが、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。

① オペラ（3団体 9公演）

- ・ロッシーニ作曲「オリエ伯爵」（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞  
藤原歌劇団公演 平成26年1月31日（金）、2月2日（日）  
東京文化会館大ホール
- ・ヴェルディ作曲「ドン・カルロ」（公財）東京二期会・＜直接事業＞  
東京二期会オペラ劇場 平成26年2月19日（水）～23日（日）  
東京文化会館大ホール
- ・三木 稔作曲「春琴抄」（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞  
日本オペラ協会公演 平成26年3月28日（金）～30日（日）  
新国立劇場中劇場

② オーケストラ（8団体 8公演） 東京芸術劇場コンサートホール

- ・平成26年1月14日（火）演奏：東京都交響楽団  
指揮：アンドレ・デ・リッダー チェロ：堤 剛
- ・平成26年1月23日（木）演奏：東京交響楽団  
指揮：飯守泰次郎 ピアノ：居福健太郎
- ・平成26年1月30日（木）演奏：日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮：藤岡幸夫 ピアノ：萩原麻未
- ・平成26年2月4日（火）演奏：読売日本交響楽団  
指揮：川瀬賢太郎 ヴァイオリン：志茂美都世

- ・平成 26 年 2 月 21 日（金）演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮：下野竜也 ピアノ：小山実稚恵
- ・平成 26 年 3 月 9 日（日）演奏：東京フィルハーモニー交響楽団  
指揮：渡邊一正 ピアノ：今野尚美
- ・平成 26 年 3 月 13 日（木）演奏：NHK交響楽団  
指揮：ラルフ・ワイケルト ピアノ：パスカル・ロジェ
- ・平成 26 年 3 月 26 日（水）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
指揮：矢崎彦太郎 ヴァイオリン：米元響子 合唱／東京シティ・フィル・コーア
- ③ 室内楽等（3 団体 3 公演） 東京文化会館小ホール
- ・平成 26 年 1 月 28 日（火）「ピアノ三重奏の夕べ」  
ピアノ：田部京子 ヴァイオリン：大谷康子 チェロ：岡本侑也
- ・平成 26 年 2 月 13 日（木）「弦楽四重奏の夕べ」  
ヴァイオリン：徳永二男・漆原朝子 ヴィオラ：川崎和憲 チェロ：毛利伯郎
- ・平成 26 年 3 月 11 日（火）「ヴァイオリン&ピアノの夕べ」  
ヴァイオリン：周防亮介 ピアノ：清水和音

## （2）「日本演奏連盟第 25 回クラシックフェスティバル」の実施

＝特定非営利活動法人イエロー・エンジェル支援＝

＝助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団＝

＝助成：公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション＝

平成元年にスタートしたクラシックフェスティバルは、当連盟ならではの他ではできないユニークなプログラムを目指して回を重ねてきたが、この 25 回をもって活動に区切りをつけることとなった。このためこれまで多方面から様々な形でご支援をいただいたことにあらためて感謝の意を表するとともに、音楽に対する尊敬の気持ちを特別に込め 3 人の偉大な作曲家、すなわちバッハ、モーツァルト、ベートーヴェンの作品を取り上げ、プロ合唱団合同による「第九」で最後を飾った。

- ・平成 25 年 4 月 21 日（日）東京文化会館大ホール  
ファイナルコンサート「Thank you for the music」  
指揮／尾高忠明  
ピアノ／小山実稚恵  
ヴァイオリン／志茂美都世・鈴木愛理  
ソプラノ／澤畑恵美 アルト／伊原直子 テノール／佐野成宏  
バリトン／大山大輔  
合唱／東京混声合唱団、二期会合唱団、藤原歌劇団合唱部  
管弦楽／フェスティバル・オーケストラ

## 3 調査研究及び権利擁護活動（調査、資料収集）

### （1）「演奏年鑑 2014 音楽資料（通巻第 40 号）」の刊行

＝文化庁委託事業「平成 25 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝  
B 5 判 570 頁 1,700 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

### （2）機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B 5 判 8 頁建 3,800 部 会員及び関係団体等に無料配布。

### （3）著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN を構成する団体の一員として、演奏家の著作隣接権報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行なった。また、MPN に設置したクラシック委員会（日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟）の中心となってクラシック部門の報酬分配のための作業を積

極的に推し進め、2011年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行なった。

2011年度徴収分…579件 50,074,088円

#### (4) 芸術家会議の活動

芸術家会議は全国の43の文化芸術創造団体で構成する組織で、会員団体はオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、伝統芸能など幅広いジャンルから構成されている。当連盟はその事務局を務め、設立以来40有余年にわたり、国の文化予算の拡充を求め活動してきた。

芸術家会議は構成メンバーの多くがトップレベルの芸術団体として文化庁より特別支援を得ているほか、各ジャンルの統括団体は人材育成事業を積極的に推進している。このため芸術家会議の活動の主要課題は、文化庁の「トップレベルの舞台芸術創造事業」及び「新進芸術家等の人材育成」の支援拡大であるが、平成26年度予算ではトップレベルの舞台芸術団体に対する支援は前年度同額の31億円、人材育成事業は前年度から2億円減額の18億円となり、今後ますます芸術団体への直接支援の増額を求める活動を活発化していかなければならない。

#### (5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

#### (6) ホームページによる情報発信

日演連ニュース、事業・催事案内、入会案内、著作隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

### 4 助成・奨学活動（応募型）

#### (1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ（5公演助成）

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供を受けた資金をもとに、35歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助を行なう事業で、25年度は5公演を採択した。

（総申請件数 13件）

- ・平成25年4月13日（土）福島市音楽堂大ホール／高木早紀ヴァイオリンリサイタル
- ・平成25年9月1日（日）イシハラホール／山崎真ピアノリサイタル～フランシス・プーランクへのオマージュ～
- ・平成25年10月31日（木）王子ホール／黒田なるみ&石井里乃デュオリサイタル～帰国記念～
- ・平成25年12月27日（金）東京文化会館小ホール／岸七美子ソプラノリサイタル～ピアノと弦楽の調べにのせて～
- ・平成26年1月24日（金）東京文化会館小ホール／末永匡ピアノリサイタル～CDデビュー記念～

#### (2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額5万円）。平成25年度は、書類審査、CD審査、実技審査を経て下記の15名を平成26年度奨学生に決定した。なお、当制度の支援期間は最長で2年間までとしている。

応募総数 36名 奨学生15名

新規：石井敏貴（ピアノ）、入江真歩（ヴァイオリン）、上野道明（チェロ）、  
宇多村仁美（ソプラノ）、奥谷 翔（ピアノ）、開原由紀乃（ピアノ）、

藤原晶世（ヴァイオリン）、藤原秀章（チェロ）、三浦舞夏（ピアノ）、  
牟田口遥香（チェロ）  
更新：今田篤（ピアノ）、大江馨（ヴァイオリン）、西條智之（バリトン）、  
三井静（チェロ）、矢野雄太（ピアノ）

## 5 啓蒙・啓発活動

### (1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について後援名義使用申請を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 148 件 うち承認件数 148 件

### (2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。25年度は4公演のマネジメントを行った。

- ・平成 25 年 7 月 11 日（木）王子ホール／武藤聡子ピアノ・リサイタル～介護の心、癒しのか～
- ・平成 25 年 10 月 31 日（木）津田ホール／長島剛子・梅本実リートデュオ・リサイタル～世紀末から 20 世紀へ Part XII <新ウィーン楽派の歌曲を集めて>
- ・平成 26 年 1 月 26 日（日）東京オペラシティ・リサイタルホール／田代優奈&須関裕子デュオ・リサイタル
- ・平成 26 年 2 月 20 日（木）東京オペラシティ・リサイタルホール／細川夏子ピアノリサイタル～日本スペイン交流 400 周年記念コンサート～

### (3) 東日本大震災復興支援事業の協力

①福島県の要請を受けて、福島県の小・中学校 2 校に演奏家を派遣する事業に協力した。文化庁<平成 25 年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業―派遣事業>

<東日本大震災復興支援対応>

- ・平成 25 年 10 月 24 日（木）福島県郡山市穂積小学校体育館／二村英仁（ヴァイオリン）、佐藤彦大（ピアノ）
- ・平成 25 年 10 月 25 日（金）福島県白河市立五箇中学校体育館／ 同上
- ②日本赤十字社福島県支部の要請を受けて、富岡第一、第二小学校、富岡中学校の仮設校舎に演奏家を派遣する事業に協力した。
- ・平成 25 年 11 月 22 日（金）福島県三春町曙ブレーキ工場仮設校舎内／大谷康子（ヴァイオリン）、小山さゆり（ピアノ）

## II その他の事業（相互扶助等事業）

### 1 会員向け事業

#### (1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間 6 公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行なう事業で、助成枠を年間 6 公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は 6 公演を助成した。

(総申請件数 14 件)

- ・平成 25 年 9 月 13 日（金）津田ホール／池田京子ソプラノリサイタル～演奏活動 30 周年記念
- ・平成 25 年 10 月 6 日（日）愛知県芸術劇場コンサートホール／あいちトリエンナーレ 2013 祝祭ウィーク事業オペラティックな現代日本歌曲とブラームス歌曲集「マゲローネのロマンス」演奏会（奥村晃平）

- ・平成 25 年 11 月 1 日（金）浦安市文化会館小ホール／＜美しい音楽を浦安に＞コンサートシリーズ Vol. 9 オペラ「蝶々夫人」（川本愛子）
- ・平成 25 年 11 月 8 日（金）ザ・フェニックスホール／林裕チェロリサイタル OPA! POPPER
- ・平成 25 年 11 月 29 日（金）王子ホール／五月女智恵ソプラノリサイタル
- ・平成 26 年 3 月 29 日（土）兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール／薮幾世子・水野雅子ジョイントリサイタル vol. 2

**(2) 「日本演奏連盟会員名簿」(年 1 回) の発行**

B 5 判 128 頁 3,700 部 11 月に全会員に配布。

**(3) 福祉厚生に関する互助業務**

互助規程に則り、互助給付を行なった。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
入院給付	1,665 (23 件)	1,425 (18 件)	1,370 (16 件)	1,345 (20 件)
死亡給付	840 (10 件)	460 (6 件)	260 (4 件)	840 (10 件)
健診補助給付	254 (86 件)	212 (71 件)	204 (69 件)	173 (58 件)
永年祝金給付	1,302 (24 件)	1,434 (28 件)	630 (12 件)	1,218 (22 件)
東日本大震災会費免除分及び見舞金		2,879 (180 件)		
合計	4,061 (143 件)	6,410 (303 件)	2,464 (101 件)	3,576 (110 件)

**(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い**

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行なった。

平成 26 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。( ) 内は前年実績

- ・芸能人国民健康保険加入者 67 人 (65 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行なった。

**(5) 会員のための税務相談**

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

## 平成25年度事業報告書の附属明細書

平成25年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。